

平成27年度第1回放送大学学園契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成27年6月26日(金) 放送大学東京文京学習センター 会議室
委員長	山田 幸太郎 (山田会計事務所・公認会計士)
委員	関口 一材 (放送大学学園・監事) 清水 幹裕 (放送大学学園・監事)
審議対象期間	平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日
審議事項	1. 平成26年度契約状況及び随意契約見直し状況について 2. 1者応札の要因の分析と改善方策について 3. 内閣府による市場化テストへの対応について
委員からの意見・質問、それに対する回答等	下記のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし

意見・質問	回答等
<p>1. 平成26年度契約状況及び随意契約見直し状況について</p> <p>随意契約から一般競争入札への移行については、過年度と比較しても状況的にあまり改善はされていないような印象があるが、一般競争に付すべき案件についてはそろそろ限界にきているのではないのか。</p> <p>2. 1者応札の要因の分析と改善方策</p> <p>前例踏襲のように仕様書を見直さず、毎年同様の契約を行っているが必要な資格要件が含まれていても、仕様書にはそのまま記載され続けることにもなるので、仕様の見直しは重要である。</p> <p>2年連続で1者応札となっている案件への対応についてはどのように進めていくのか。</p> <p>3. 内閣府による市場化テストへの対応について</p> <p>学園はアンケートにより応札を辞退した理由を把握しているが、市場化テストの対象となっている案件については、例えばある会社が「技術的に難しい」という理由で辞退するのであれば、技術的に足りない部分はどこなのかなど詳細に記載してもらい「応札辞退説明書」を徴することも検討してはどうか。</p>	<p>随意契約から一般競争への移行については学園独自の特殊案件も多いことから、随意契約として契約すべき案件が残っている状況であるが、今後も透明性の確保に努めて参りたい。</p> <p>1者応札となる理由としては、仕様の内容に問題がある案件もあると思われることから、仕様の改善について検討して参りたい。</p> <p>全体的にアンケート結果により1者応札となった原因を分析している状況であるが、契約を絞り個別にレビューして次の契約に生かすという方向で実施し、その結果については本委員会に報告し審議していただくなど検討している。</p> <p>応札を辞退した理由をしっかりと把握できると思われるので、「応札辞退説明書」の実施を検討して参りたい。</p> <p>(以上)</p>